

2021 年度第 1 回社会・環境部会運営小委員会議事メモ（案）r1

2021 年 4 月 26 日  
社会・環境部会 事務局長  
山本 隆一

1. 開催日時  
2021 年 4 月 26 日（月）13：00～15：00
2. 開催場所  
Zoom によるリモート会議
3. 出席者  
土田部会長、佐田副部会長、諸葛委員、伊藤委員、原委員、寿楽委員、  
布目委員、稲村委員、高木委員、小林委員、木藤委員、竹田委員、  
北田委員、桑垣委員、山本事務局長
4. 配付資料  
21-1-0 議事次第  
21-1-1 2020 年度第 4 回社会・環境部会運営小委員会議事メモ案 r2  
21-1-2 部会等運営委員会の状況について  
21-1-3-1 2021 年度運営委員一覧  
21-1-3-2 2021 年度運営体制表  
21-1-4a 21 秋企画セ提案書社環部会  
21-1-4b 21 秋企画セ提案書社環部会  
21-1-5 2020 年度予算執行状況及び 2021 年度予算について  
21-1-6 マスメディアとの関係構築  
21-1-7 部会 HP について
5. 議事概要  
Zoom 会議開始に手間取ったことから部会長の挨拶抜きで議事に入った。  
(1) 前回議事メモ確認  
前記の理由により時間節約の観点から、各委員が別途再確認した上で、今週末までに必要に応じて山本事務局長までコメントを寄せることとした。  
(2) 部会等運営委員会の状況について  
稲村委員より資料 21-1-2 に沿って紹介があった。稲村委員よりプログラム編成 WG メンバー等部会選出委員について交代も視野に入れる必要がある旨提案があった。これについては部会長より次の議案となっている運営小委員会委員の役割分担と絡めて議論するとの発言があった。また、今年度の運営小委員会委員の情報について、各自確認する他、昨年度の部会活動報告に必要な情報を集めたいとのこと。

(3) 2021 年度部会運営体制について

21-1-3-2 に沿って昨年度の運営体制について山本より説明を行った。途中、部会長が引き取り、本日の主課題の一つとして議論した。特に新委員の役割分担については、桑垣委員はデータ管理ワーキングに、北田委員には表彰委員会委員をお願いしたい旨発言があり、両委員は快諾した。

高嶋委員は欠席であったが、これまでシンポジウム等の企画に名を連ねていた寿楽委員他と合せて佐田副部会長以下 7 名そして土田部会長を勉強会の主たる構成員とすることとした。また、シンポジウム等の企画については勉強会の下部組織として勉強会で抽出した案件を具体化するためのチームと位置付け、前記の 7 名（これまでのシンポジウム等の企画担当委員と高嶋新委員）がこれに関わることとなった。（運営体制確定版：添付）

(4) 秋の大会における部会企画について

佐田副部会長より資料 21-1-4a に沿って秋の大会での部会企画セッションの提案があった。本件を提案することについて了解された。また、空欄となっていた座長については部会長が対応することとなった。

(5) 2021 年度予算について

高木委員より 21-1-5 を用いて説明があった。現時点では全体会議時点と同じ、見込みの額となっている。21 年度予算については、コロナ禍環境において、既に秋の大会は Zoom 開催が決まっているものの、その先に旅費等も必要になる可能性やシンポジウム等を実施することも考慮した予算としている。

(6) マスメディアとの関係構築について

伊藤委員より 資料 21-1-6 により今年度の計画について説明があった。具体的には、最速の場合で 6 月～7 月頃、コロナの状況に応じた実施方式（オンラインまたはハイブリッド方式等）を検討しつつ開催を目指すこととした。

テーマとしては、政府の「グリーン成長戦略」およびメディア側のニーズを踏まえて、新型炉など「革新的技術の原子力イノベーションに向けた研究開発について」とし、今後、講師選定していくこととなった。

(7) データ管理ワーキンググループについて

土田部会長より、本件唯一のユーザーは新委員の桑垣氏であり、同氏をこのワーキンググループに加えたい旨発言があり、了承された。

(8) PSWG 活動状況について

山本より PSWG（ポジションステートメントワーキンググループ）の活動と部会内での PS の検討とは別物であり、現状では当部会の性格を反映した PS の検討や創作には無理があるので、体制を補強したいとの提案を行った。これに対し、部会長より竹田委員や稲村委員に加わってもらってはどうか、との提案があり、両氏の了解も得られたことから今後はその体制で部会とし

での PS の検討を行っていくこととなった。

(9) 部会 HP のリニューアルについて

木藤委員より 21-1-7 に沿って現状と課題について紹介があった。各課題については以下のような提案がなされ、その方向で進めることとなった。

- ① 「実効線量と実用量に関する Webinar」のまとめや報告の掲載については部会長から担当部会に問いかける。また、併せて必要に応じて関連サイトとのリンクも検討する。
- ② 勉強会の運用についてはリーダーである佐田副部会長を中心に検討してもらう。
- ③ 関電問題については当部会として今後対応していくか勉強会メンバーで検討してもらう。
- ④ Facebook について小林委員のアカウントで設定したが、今後管理者として事務局長他も追加する予定。書き込み担当者は事務局長として置き、寿楽委員を始めとする総務小委員会でこれをフォローすることとする。書き込み内容は HP に掲載する新着情報から始める。

この他、運営小委員会資料については原則非掲載とし、掲載の必要がある場合はその内容を精査することとした。

以上

## 2021年度 社会・環境部会運営体制

